

執筆者一覧（掲載順）

波 照 間 永 吉	沖縄県立芸術大学名誉教授
加 治 順 人	沖縄県護国神社宮司 沖縄国際大学非常勤講師
金 貞 我	非文字資料研究センター元研究員 神奈川大学経営学部非常勤講師
石 井 和 帆	神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科 博士後期課程
小 泉 優 莉 菜	非文字資料研究センター 2016年度奨励研究採択者 神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科 博士後期課程

■編集後記

『非文字資料研究』16号は、5編の論文を掲載することができました。いずれも示唆に富むのです。波照間永吉氏の論文と加治順人氏の論文は「近代沖縄における祭祀再編と神社」班の2017年度公開研究会での報告を展開させ、歴史のなかのウタキや神社だけでなくウタキや神社を取り巻く現状にも論及しています。その意味で、沖縄におけるウタキと神社研究の「今」を知ることができるだけでなく、琉球文化の中核的な役割を果たしてきた祭祀や宗教の再編などを通して、沖縄の現況を考える材料も提供しています。個人研究論文は2編。朝鮮の「平生図」の成立を考察する金貞我氏の論文、歴史民俗資料学研究院生からは石井和帆氏の論文が近代日本の『風俗画報』の資料を検討しています。奨励研究成果論文は1編。小泉優莉菜氏の論文は宣教師の書簡を使った潜伏キリシタンの心性史を考えるものです。

掲載論文はいずれも、写真や絵図や証言など非文字資料を活用し、あるいは図像資料自体を対象とした意欲的な内容です。対象地域も沖縄や朝鮮、そして日本、時代やテーマにも広がりがありました。また、非文字資料の考え方や史料批判、非文字資料を使った対象へのアプローチの在り方、叙述スタイルなどの議論もあり、興味を惹かれました。多くの論考が寄せられることで、非文字資料に対する視点や方法論についての議論もさらに深まっていくと考えていますので、『非文字資料研究』に積極的な投稿をお願いします。(後田多)

■表紙説明

本号の表紙は『風俗画報』の特集号『新撰東京歳事記上編』（明治31年1月25日）に収録された「日本橋新年の景況」（山本松谷画）である。雑踏の中に描かれた人々の姿態は様々で、当時の正月を表すモチーフで溢れかえっている。例えば、獅子舞や猿回し、鳥追い、漫才などの芸人、新年の挨拶に向かうであろう紋付を羽織った男性、亀戸天満宮で購入したであろう繭玉を担ぐ男性などが描かれている。また、服装に着目すると、流行の丸高帽子や鳥打帽子、コートにステッキを持つ男性、防寒用の御高祖頭巾を身に着けた女性など、当時の人々の生活文化がヴィジュアルで分かる面白い資料である。

裏表紙は同誌の第243号（明治35年1月2日）に収録された「上総のジャンガリコの図」（黒崎修斎画）である。千葉県各地に伝わる正月の鳥追い行事である「ホージャリ」（一部地域はジャンガリコと呼ぶ）を描いたもので、囲炉裏に丸太を吊り下げ、その周囲に座った子ども達が歌いながら小型の棒（ホージャリボウ）で丸太を夜な夜な叩く様子が描かれている。時代の変遷とともに、現在は行われなくなってしまった行事を記録した貴重な民俗資料である。(石井)

非文字資料研究 第16号

The Study of Nonwritten Cultural Materials No. 16

発行日	2018年9月30日
編集・発行	神奈川県立歴史民俗資料館 非文字資料研究センター 〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1 http://himoji.kanagawa-u.ac.jp/
印刷	株式会社 精興社
雑誌コード	ISSN 2432-5481